

款	教育費	項	教育総務費			
事業名	「小中一貫教育」推進事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	3 教育内容の充実					
H30決算額	5,213千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						5,213千円

【事業の概要】

小中学校を貫く学びの連続性の中で、学校が主体的に創意工夫に努め、児童生徒の発達段階を考慮しながら、心豊かに個性を発揮できるたくましい子どもの育成を図ります。

◎キャリアノートの活用

9年間で4つのブロックに分け、各ブロックでのテーマに合わせた学習や活動の振り返りに活用します。体験活動や集団との交流活動を通して、一人一人の社会的自立に向け、発達段階に応じた、基盤となる能力や態度の育成に取り組めます。

◎ICT機器を活用した学習指導

児童生徒の学習の理解を深めるため、映像や音声、シミュレーションの機能を生かした学習指導を小中一貫の学習方法として推進しており、デジタル教科書の導入や電子黒板などICT機器を効果的に活用しました。また、児童生徒による学校間テレビ会議やプレゼンテーションなどの活動を通して、思考力・判断力・表現力を育む授業を実践しています。さらに、情報教育サポーターを配置し、児童生徒の機器操作を支援するとともに、教員のスキルアップに努めています。

◎小中学生の交流活動

小中一貫交流会を実施し、小学生が中学校に集まるなど、他校の小学生や中学生と交流を深めました。

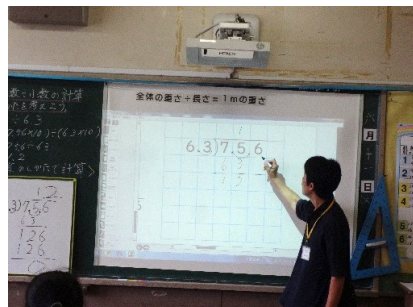
〔事業費〕

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費・備品購入費	2,434	キャリアノート印刷製本、デジタル教科書購入
委託料	2,268	情報教育サポーター委託料
使用料及び賃借料	511	小中交流会バス借上料
合 計	5,213	



みらいスタディ キャリアノート
を使用した授業



デジタル教科書を使用した
授業展開



小中交流会

【事業の成果】

市内各中学校区の特徴を生かし、義務教育9年間を見通した学びの連続性を創造する小中一貫教育を推進することができました。

小中一貫教育推進に向けて、教職員の合同研修や児童生徒の交流活動を充実させるとともに、小中一貫教育運営協議会や小中一貫推進主任会を中心として、全市的な研究や実践を進めました。

また、「みらいスタディ キャリアノート」を活用し、社会性を身につけさせるとともに、将来の夢を考える活動を行い、心豊かでたくましい子どもの育成に寄与しました。

款	教育費	項	教育総務費				
事業名	教育情報化計画策定事業						
施 策 の 大 綱	2－2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり						
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実						
施 策 の 内 容	6 社会の変化に適切に対応できる教育の推進						
H30決算額	1,284千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 1,284千円	
【事業の概要】							
平成26年3月に「第1期土浦市教育情報化計画」を策定し、児童生徒の情報活用能力の向上や、教職員の指導力向上のために、学校現場へのＩＣＴ機器整備を段階的に進めてきました。「第2期土浦市教育情報化計画」は、前計画を基盤とし、児童生徒の情報活用能力や教職員の指導力向上を更に推進し、今後の変化の激しい時代に向けたふさわしい学校教育の実現を目標とし、学校現場の負担軽減、無駄のないＩＣＴ機器整備を実施し、本市での教育の情報化の指針を示すものです。							
◎第1期土浦市教育情報化計画の結果			〔ＩＣＴ活用指導力に関する調査〕 (単位:%)				
<成果> ・授業中にＩＣＴを活用して指導する能力が20.6%向上しました。 ・教員が授業の準備等にＩＣＴを活用する能力と校務にＩＣＴを活用する能力が約8%向上しました。 <課題> ・児童生徒にＩＣＴ活用を指導する能力は69.7%から75.7%に向上していますが、更なる向上が課題です。				年度	市平均	県平均	全国平均
			授業の準備等にＩＣＴを活用する能力	平成24年度	79.9	85.1	78.1
				平成29年度	88.2	88.6	84.8
			授業中にＩＣＴを活用して指導する能力	平成24年度	64.0	75.4	65.1
				平成29年度	84.6	82.2	76.6
			児童生徒のＩＣＴ活用を指導する能力	平成24年度	69.7	74.8	62.8
				平成29年度	75.7	75.9	67.1
			情報モラルなどを指導する能力	平成24年度	80.2	82.0	73.3
				平成29年度	87.6	85.8	80.6
			校務にＩＣＴを活用する能力	平成24年度	77.0	81.8	74.2
平成29年度	85.0	84.6		80.2			
			※各能力について、「わりとできる」「ややできる」と回答した割合				
◎第2期土浦市教育情報化計画の主な取組			〔第2期達成目標値〕 (単位:%)				
・児童生徒が活用できるＩＣＴ機器の整備 ・特別支援教育におけるＩＣＴ機器の活用 ・教員の超過勤務改善のための校務支援システムの検討 ・ＩＣＴ活用力を高めるための研修の充実				達成目標値			
			授業の準備等にＩＣＴを活用する能力	93.0			
			授業中にＩＣＴを活用して指導する能力	90.0			
			児童生徒のＩＣＴ活用を指導する能力	80.0			
			情報モラルなどを指導する能力	93.0			
			校務にＩＣＴを活用する能力	90.0			
〔事業費〕			(単位:千円)				
区 分	事業費	概 要					
需用費	171	土浦市教育情報化計画印刷製本					
委託料	1,113	土浦市教育情報化計画策定業務委託料					
合計	1,284						
【事業の成果】							
本市の学校教育における情報化の現状把握と課題の整理を行い、前計画を基盤とした新たな目標を設定しました。							
今後は、ＩＣＴ機器の効果的な整備を進め、ＩＣＴを活用した児童生徒の情報活用能力の更なる向上と、社会問題となっている教員の超過勤務の解消を目指します。							

款	教育費	項	小学校費				
事業名	小学校適正配置推進事業						
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり						
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実						
施 策 の 内 容	10 小学校の適正配置						
H30決算額	224千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						224千円	

【事業の概要】

平成24年度に策定した「土浦市立小学校適正配置実施計画」に基づき、適正規模に満たない小学校が複数ある上大津地区について、子どもたちのより良い教育環境の整備を目指すため、上大津地区小学校適正配置検討委員会を設置し、具体的な検討を進めています。

◎これまでの経緯

平成29年度

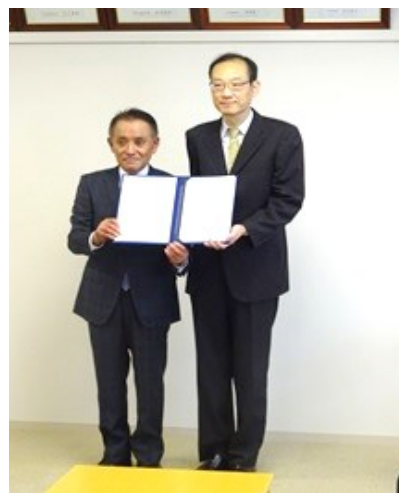
- ・保護者・地域住民説明会の開催（8月）
- ・上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催（11月、2月）

平成30年度

- ・保護者・地域住民説明会の開催（6月、1月）
- ・上大津西小学校区アンケートの実施（9月）
- ・上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催（7月、10月、2月）
- ・「土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画」の中間提言（11月）
- ・「上大津西小学校と菅谷小学校の暫定的統合計画」の策定（2月）



上大津地区小学校適正配置検討委員会の様子



「土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画〈中間提言〉」提言式

【事業の成果】

神立小学校を除く3小学校（上大津東小学校、上大津西小学校、菅谷小学校）を統合し、その統合先を「①上大津東小学校とする。②土浦第五中学校付近とする。③土浦第五中学校隣接とする。」の3案の候補を選定しました。

また、令和2年4月に菅谷小学校に暫定統合する計画を策定し、上大津西小学校の複式学級の早期解消を図ります。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	9 学校施設やICT機器の整備・充実					
H30決算額	6,124千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 6,124千円

【事業の概要】

東日本大震災の被害状況を受けて平成23年度に改正された文部科学省の施設整備基本計画方針に基づき、校舎及び屋内運動場の耐震化を図っていますが、構造体の耐震化が平成27年度に完了し、屋内運動場等の非構造部材の耐震化についても平成29年度に完了したことから、これに引き続き、校舎等の非構造部材の耐震化を推進しています。

平成30年度は、小学校2校の非構造部材耐震化工事の実施設計を行いました。

〔事業内容〕

◎対象校

学校名	構造	階数	延床面積 (単位:階・㎡)
下高津小学校	鉄筋コンクリート造	3	5,277
荒川沖小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,918

◎設計概要

窓ガラス飛散防止フィルム貼り、放送設備機器の固定化や落下防止対策等

〔事業費内訳〕

区分	事業費	概要 (単位:千円)
委託料	6,124	実施設計
合計	6,124	



普通教室の状況



理科室の状況

【事業の成果】

下高津小・荒川沖小の実施設計を行い、耐震化工事に向けた進捗が図られました。

款	教育費	項	幼稚園費				
事業名	市立幼稚園適正配置事業						
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり						
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実						
施 策 の 内 容	1 幼児期の教育の推進						
H30決算額	2千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	2千円

【事業の概要】

市立幼稚園の園児数が年々減少し、定員を大きく下回っていることから、幼児の健やかな成長のための適当な環境を維持することが難しくなっています。このため、近年の幼稚園需要の変化を考慮し、本市の幼稚園教育全体の充実を目指すことから、「土浦市立幼稚園の再編計画」に基づき市立幼稚園の適正配置を進めています。

◎これまでの経緯

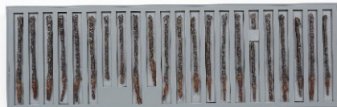
- | | |
|--------|--|
| 平成27年度 | ・ 幼稚園適正配置内部検討委員会の開催（5月～2月） |
| 平成28年度 | ・ 「土浦市立幼稚園の再編計画」の策定（5月） |
| | ①平成30年3月末に土浦第二幼稚園、都和幼稚園及び大岩田幼稚園を廃止
〈条例可決〉 |
| | ②平成34年3月末に土浦幼稚園及び新治幼稚園を廃止〈予定〉 |
| | ・ 幼稚園連絡協議会の設置（10月） |
| | ・ 視察研修会の開催 |
| | 平成28年10月12日 土浦第二幼稚園 |
| | 平成29年 2月12日 認定こども園エンゼルススポーツ幼稚園 |
| 平成29年度 | ・ 幼稚園連絡協議会の開催（7月） |
| | ・ 視察研修会の開催 |
| | 平成29年10月24日 土浦幼稚園 |
| | 平成30年 2月13日 認定こども園ひたち学院幼稚園 |
| 平成30年度 | ・ 土浦第二幼稚園、都和幼稚園、大岩田幼稚園の廃止（平成30年3月31日） |
| | ・ 幼稚園連絡協議会の開催（11月） |



土浦幼稚園の視察研修

【事業の成果】

「土浦市立幼稚園の再編計画」に基づく適正配置の実施に当たり、市内幼稚園の抱える様々な課題のうち、支援を要する園児に関することについて、認識の共有、課題解決を図りました。

款 教育費		項 社会教育費				
事業名		武者塚古墳出土品保存台製作事業				
施 策 の 大 綱		2－2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり				
施 策 名		4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり				
施 策 の 内 容		4 埋蔵文化財の保護と活用				
H30決算額	3,075千円	財源内訳	国県支出金 1,513千円	地方債	その他 1,562千円	一般財源
【事業の概要】						
平成26年度に国の重要文化財に指定された「茨城県武者塚古墳出土品」について、貴重な文化遺産として後世のために長く保存し、本市の教育普及事業の更なる充実を図るため、平成28年度から30年度までの3年間で、出土品をより安定的な状態で保存できる保存台を製作しました。また、さびやひびなどが発生し、処理対応が必要な出土品について適正な保存処理を行いました。特に、美豆良（みずら）は毛髪であり、発見例が極めて少ない資料であることから、温度・湿度を測る機器を備え、一定湿度を保つための密閉したケースを製作しました。						
◎事業実績						
[平成28年度分]			(単位：千円)			
区分	事業費	概 要				
報償費・旅費	135	銀製の帯状金具・銅装の大刀・鉄鏃などの保存処理、勾玉やガラス小玉の保存台製作				
委託料	2,089					
合計	2,224					
[平成29年度分]			(単位：千円)			
区分	事業費	概 要				
報償費・旅費	179	鉄鏃の保存処理や、銀製の帯状金具・銅製の杓・大刀・銀装の大刀・鉄鏃の保存台製作				
委託料	2,056					
合計	2,235					
[平成30年度分]			(単位：千円)			
区分	事業費	概 要				
報償費・旅費	148	鉄鏃の保存処理や、銅装の大刀・大刀の鏢・鉄鏃の保存台製作、美豆良（みずら）の劣化状況調査と保存台製作				
委託料	2,927					
合計	3,075					
   銅装三累環頭大刀 鉄鏃(鉄製の矢じり) 頭髮(美豆良)と髭						
【事業の成果】						
保存台の製作により、安定した状態での保管と展示が出来るようになりました。また、劣化が進行している出土品の保存処理を行ったことで、より長期的な保存が可能となりました。令和元年度、秋季に開催する企画展で展示公開する予定です。						

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	美術品公開推進事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり					
施 策 の 内 容	1 文化芸術活動の推進					
H30決算額	1,862千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
					5千円	1,857千円

【事業の概要】

公開推進事業として、下記の展覧会を開催しました。

◎茨城新聞共催事業「平和への願いを込めて～戦争写真家 ロバート・キャパ展」

会期：平成31年1月12日（土）～2月11日（月祝）※開館日数28日間

来場者数：8,692人

東京富士美術館のコレクションから、20世紀を代表する写真家
ロバート・キャパの写真約100点を展示しました。

（単位：千円）

区分	事業費	概要
旅費	42	東京富士美術館への出張
合計	42	



ロバート・キャパ展 展示風景

◎市民協働企画展「しゃべっぺ土浦写真展」

会期：平成31年2月16日（土）～3月10日（日）※開館日数20日間、来場者数：1,672人

平成28・29年度のワークショップを経て、企画が具体化された、市民の方からの公募による写真展です。展示された写真に、来場者もコメントを追加できるユニークな内容となりました。

また、新治地区を散策しながら石仏や文化財等の写真を撮る、関連イベントも開催しました。

（単位：千円）

区分	事業費	概要
報償費	20	関連イベント講師謝礼
需用費	401	チラシ・ポスター、その他消耗品
役務費	100	展示映像機器設置作業
合計	521	

◎土浦市立図書館・土浦市民ギャラリー連携企画展「アートとブックが出会う場所」

会期：平成31年3月21日（木）～令和元年5月6日（月）※開館日数47日間

来場者数：4,320人

土浦市立図書館と土浦市民ギャラリーそれぞれの特性を活かしながら連携した文化プロジェクトとして、「絵本原画」をはじめ「仕掛け絵本」「創作絵本」など、多様な絵本の世界を提示しました。

また、絵本作家鈴木永子氏による講演会や、小林由季氏によるオープニングイベント、ギャラリートークなどの関連イベントも開催しました。

（単位：千円）

区分	事業費	概要
需用費	462	チラシ・ポスター、展示用絵本購入等
役務費	224	絵本原画輸送費
合計	686	



連携企画展 展示風景

◎土浦市収蔵美術品展

合計6回開催

（単位：千円）

区分	事業費	概要
旅費	5	美術品収集に係る協議
需用費	55	展示用消耗品
役務費	553	寄贈作品輸送費、保険料
合計	613	

【事業の成果】

20世紀を代表する写真家ロバート・キャパの展覧会には8,600人超、初の試みとなった図書館との連携企画による絵本の展覧会には4,300人超の来場者があり、優れた美術品の鑑賞の場を提供すると同時に、芸術文化を介した市民同士の交流の場を創出できたことで、駅前活性化に寄与しました。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	市民会館耐震化及び大規模改造事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり					
施 策 の 内 容	2 文化施設等の整備と活用					
H30決算額	57,013千円	財源内訳	国県支出金 5,353千円	地方債 42,000千円	その他	一般財源 9,660千円

【事業の概要】

土浦市民会館は、昭和44年の竣工から長期間が経過し、老朽化が著しく、耐震補強も必要であると診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、老朽箇所等の大規模な改修を行い、施設を安心・安全に利用できるように整備します。

平成29年度から平成30年度にかけて、設計業務を実施しました。工事については、平成30年12月19日から令和2年3月15日の工期で実施しています。

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	24,236	耐震補強及び大規模改造工事設計業務委託
合計	24,236	

[平成30年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	翌年度繰越分	概 要
工事請負費	29,388	36,738	耐震補強及び大規模改造工事
委託料	292	584	耐震補強及び大規模改造工事監理業務委託
	3,097	-	備品運搬、備品処分に係る委託料
合計	32,777	37,322	

◎改修工事の概要

- ・耐震補強工事
- ・大小ホール天井脱落防止対策
- ・トイレの全面改修
- ・エレベーター及びスロープの新設
- ・大小ホール客席の交換
- ・舞台設備の改修
- ・その他、法令上・安全上必要な工事 ほか

◎事業スケジュール

平成29年度	設計業務
平成30年度	設計業務、改修工事
令和元年度	改修工事
令和2年5月下旬	リニューアルオープン予定



市民会館改修イメージ

【事業の成果】

平成30年度は、設計業務が完了し、工事に着工しました。

今後、市民等が安心して利用できるよう施設の安全性を確保するための改修工事を進め、リニューアルオープン後は、市民の文化芸術活動の拠点としての活用を推進します。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	重要資料公開推進事業						
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり						
施 策 名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり						
施 策 の 内 容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実						
H30決算額	6,560千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						6,560千円	

【事業の概要】

博物館では、開館30周年記念特別展「花火と土浦Ⅱ―祈る心・競う技」、第40回特別展「町の記憶―空都土浦とその時代」などを開催しました。

〔平成30年度事業費実績〕

(単位：千円)

区分	事業費	概 要
報償費	553	講演会講師謝礼，資料借用謝礼，体験講座講師謝礼等
旅費	180	調査旅費，資料借用・返却時旅費
需用費	2,155	消耗品費，図録・ポスター・チラシ等印刷製本費
役務費	3,629	通信運搬費，手数料，筆耕料，資料借用時保険料，広告料
使用料及び賃借料	43	シンポジウム会場使用料（亀城プラザ）
合計	6,560	

〔平成30年度入館者実績〕

(単位：千円，人)

展覧会の名称	開催期間	事業費	入館者数	概要
花火と土浦Ⅱ―祈る心・競う技	4月1日(日)～ 5月6日(日)	2,339	6,768	土浦全国花火競技大会と大畑からかさ万灯
町の記憶―空都土浦とその時代	3月16日(土)～ 3月31日(日)	3,556	1,829	ふたつの海軍航空隊と土浦町の近代
井戸のある暮らし―人々の生活をうるおす	10月16日(火)～ 12月2日(日)	574	4,379	沼尻墨僊「井戸掘図」と井戸との関わり
特別公開「土屋家の刀剣」	9月20日(木)～ 10月8日(月)	64	1,872	国宝・重要文化財の公開
むかしの暮らしの道具展	1月5日(日)～ 2月24日(日)	11	5,520	小学校の校外学習に合わせて展示
はたおり作品展&文化財特別公開	3月2日(土)～ 3月31日(日)	16	3,352	武者塚古墳出土経錦（重要文化財）を展示

※特別展・はたおり作品展は、平成30年度分の入館者数のみを記載



「花火と土浦Ⅱ―祈る心・競う技」展示室



「井戸のある暮らし」展示解説会

【事業の成果】

特別展やテーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財などの貴重な資料を身近に感じる機会を作ることによって、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、市民の地域文化への理解を深め、更なる文化財保護の契機となることが期待されます。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	茨城国体準備事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり					
施 策 の 内 容	4 生涯スポーツの普及・振興の推進					
H30決算額	86,201千円	財源内訳	国県支出金 20,849千円	地方債	その他 5,000千円	一般財源 60,352千円

【事業の概要】

令和元年に開催する第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）の円滑な運営を行うため、競技別のリハーサル大会を開催しました。また、市民意識の高揚を図り、おもてなしの心を持って大会の開催ができるよう各種事業に取り組みました。

◎平成30年度主な事業内容

- ・平成30年4月～ キララまつりなど14のイベントへ参加し、茨城国体認知度向上、機運醸成のためのPR活動を実施
- ・〃 5月 2019茨城国体土浦市実行委員会第4回総会の開催
- ・〃 5～7月 市内小・中・義務教育学校において、都道府県ごとの手作り応援のぼり旗を制作し、リハーサル大会時に掲出
- ・〃 5～11月 第74回国民体育大会競技別リハーサル大会の開催

競技	(種目)	大会名	日程	会場
高校野球	(軟式)	第66回春季関東地区高等学校軟式野球大会	5月26日(土)～28日(月)	J：COMスタジアム土浦
水泳	(水球)	第73回国民体育大会関東ブロック大会	8月4日(土)～5日(日)	県立土浦第二高等学校プール
相撲		第57回全国教職員相撲選手権大会	8月19日(日)	霞ヶ浦文化体育会館
軟式野球		水戸市長旗第26回東日本軟式野球選手権大会	11月3日(土)～4日(日)	J：COMスタジアム土浦

- ・〃 6～10月 花いっぱい運動の試行栽培を実施し、リハーサル大会時に飾花（試行栽培：市内小・中・義務教育学校、69町内会）
- ・〃 9～10月 第73回国民体育大会（福井国体）の視察
- ・〃 10～3月 国体開催に向けた防犯カメラの設置（川口運動公園内6台設置、大岩田地内外6台設置）

〔事業決算額〕

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
工事費	6,415	防犯カメラ設置費（12台）
負担金	79,786	2019茨城国体土浦市実行委員会運営負担金
計	86,201	

◎第74回国民体育大会競技別リハーサル大会の様子



水球



相撲



軟式野球

【事業の成果】

第74回国民体育大会の開催を万全なものにするため、競技別のリハーサル大会を実施し、円滑な運営や競技会進行上の問題点等を整理することができました。

また、第74回国民体育大会開催認知度の向上を目指して、市内で開催されたイベントでPR活動を展開したことにより、開催認知度向上や機運の醸成が図られました。

市内の小・中・義務教育学校や町内会の協力により、花いっぱい運動や手作り応援のぼり旗を制作し、リハーサル大会開催時に各競技会場に飾ることで、会場を訪れた選手や監督などを温かく迎えることができました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	学校給食センター再整備事業					
施 策 の 大 綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり					
施 策 名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実					
施 策 の 内 容	8 学校給食の充実					
H30決算額	41,909千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				31,000千円		10,909千円

【事業の概要】

老朽化した既存の2つの学校給食センターを統合し、旧新治庁舎跡地に1センター方式として、令和2年9月から供用開始できるよう（仮称）土浦市立学校給食センターを整備します。

◎これまでの経緯

平成25年度	土浦市立学校給食センター再整備基本構想を策定
平成26年度	新学校給食センターの事業手法を決定
平成28年度	新学校給食センターの建設場所を旧新治庁舎跡地に決定 厨房機器業者を選定するプロポーザルを実施
平成29年度	再整備基本・実施設計を作成（平成28年度・29年度の継続費） 旧新治庁舎の解体工事、記念碑等の移設工事を実施
平成30年度	建築工事と厨房機器購入の契約を9月に締結し、10月から工事に着工

[平成30年度事業費]

（単位：千円）

区分	事業費	概要
旅費	14	製品工場検査旅費
手数料	485	建築確認等手数料
委託料	376	学校給食センター再整備工事監理委託料
工事請負費	41,034	学校給食センター再整備工事費
合計	41,909	

◎新学校給食センター建設場所：土浦市藤沢地内（旧新治庁舎跡地）

新学校給食センター概要	
提供給食数	12,000食/日
献立形態	3献立制
建築面積	4,098.95㎡
敷地面積	6,883.68㎡



完成イメージ図

◎今後の予定

平成30年度～令和2年5月	建築工事（継続費），厨房機器物品購入（債務負担行為）
令和2年6月～8月	準備期間
令和2年9月	供用開始

【事業の成果】

実施設計に基づき、安心・安全で望ましい学校給食が提供できるコンパクトで効率的な施設として、（仮称）土浦市立学校給食センターの建築工事に着工しました。加えて、学校や家庭との連携を図りながら食物アレルギーの対応が可能な設備・機能を整備するとともに、食に関することや地産地消について学べる施設として、食育の推進にも寄与することを目指し、事業を推進します。

主 要 施 策 の 成 果 説 明 書

特 別 会 計

款	地域支援事業費	項	包括的支援・任意事業費
---	---------	---	-------------

事業名	地域包括支援センター体制整備事業
-----	------------------

施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり
-------	---------------------

施策名	4 生きがいを持ち、元気で安心して暮らせる高齢者福祉の充実
-----	-------------------------------

施策の内容	2 地域包括支援センターの体制整備
-------	-------------------

H30決算額	70,835千円	財源内訳	国県支出金 40,907千円	地方債	その他	一般財源 29,928千円
--------	----------	------	-------------------	-----	-----	------------------

【事業の概要】

地域包括支援センターは、高齢者の暮らしをサポートするための拠点として、高齢者等の総合相談窓口のほか、要支援認定者等のケアプランの作成等、福祉・健康・医療など様々な分野から総合的に高齢者やその家族を支える機関として設置が義務付けられており、本市では社会福祉協議会に委託し、1箇所体制で運営していました。

高齢化に伴う対応件数の増加や相談内容等が複雑化してきたことから、地域包括支援センターの機能強化を図るため、平成30年度は、公募プロポーザルを実施し、地域包括支援センターの増設を行いました。

10月より「地域包括支援センターかんだつ」の運営を開始し、2箇所体制による事業運営としました。

(単位：千円)

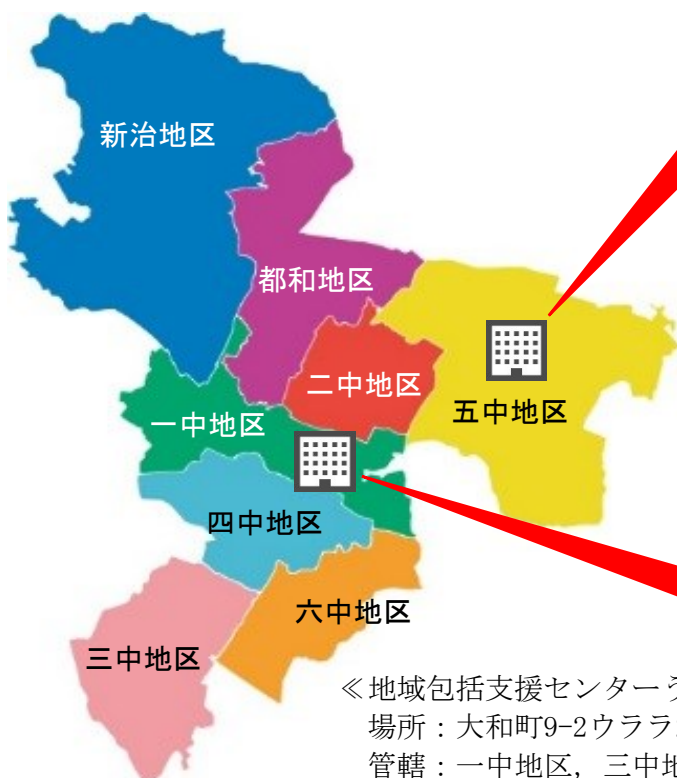
科目	うらら	かんだつ
総合相談事業委託料	17,559	10,776
権利擁護等事業委託料	13,169	8,081
包括的ケアマネジメント支援事業委託料	13,169	8,081
合 計	43,897	26,938



《地域包括支援センターかんだつ》

場所：神立中央五丁目4-14

管轄：二中地区、五中地区
都和地区、新治地区



平成30年度業務実績（延べ件数）

(単位：件)

	うらら	かんだつ
総合相談件数	4,942	1,606
権利擁護相談件数	299	68
包括的ケアマネジメント支援対応件数	444	70

《地域包括支援センターうらら》

場所：大和町9-2ウララ2ビル4階

管轄：一中地区、三中地区
四中地区、六中地区



【事業の成果】

地域包括支援センターを増設し、管轄を分けたことで、地域に密着した事業運営が可能となり、人員体制もおおむね整備されたことから、より積極的で、きめ細やかな高齢者への支援が期待されます。

款 地域支援事業費		項 包括的支援・任意事業費	
事業名		認知症施策推進事業	
施 策 の 大 綱		2－4 ふれあいとあたたかいまちづくり	
施 策 名		4 生きがいを持ち、元気で安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
施 策 の 内 容		3 安心して暮らせる環境づくり	
H30決算額	3,365千円	財源内訳	国県支出金 1,943千円 地方債 0 其他 0 一般財源 1,422千円
【事業の概要】			
国が策定した「認知症施策推進総合戦略」（新オレンジプラン）などに基づき、高齢福祉課などに配置する認知症施策の推進役となる認知症地域支援推進員を中心に事業を企画し、認知症高齢者とその家族の支援を行いました。			
◎認知症初期集中支援チームの活動			
認知症の疑いのある方（初期の段階の方）で、かつ、医療・介護に結び付いていない方を中心に、医療と介護の専門職で構成するチーム員が、訪問活動を通じて、早期に適切なサービス導入ができるよう支援しました。			
 一中地区、二中地区、五中地区、 都和地区、新治地区 → 地域包括支援センターうらら 三中地区、四中地区、六中地区 → 高齢福祉課			
平成30年度実績		(単位：件)	
		チーム対象事例合計（実件数）	20
		※うち終了事例合計	14
		認知症相談件数合計	376
事業費		(単位：千円)	
		報償費（サポート医謝礼等）	460
		委託料（チーム運営）	1,581
		合 計	2,041
◎認知症カフェ「ふれあい茶屋」の開催			
市内3か所で、それぞれ毎月1回、認知症カフェ「ふれあい茶屋」を開催し、認知症の方の通いの場、介護者の気分転換の場として活用されています。			
平成30年度の実績		(単位：千円)	
開催回数（回）	35	事業費	委託料（ふれあい茶屋運営委託） 900
参加延人数（人）	694		役務費（参加者保険） 52
※3か所の合計			合 計 952
			
ふれあい茶屋さくらのスタッフ			
◎その他 認知症ケア向上事業			
認知症地域支援推進員が中心になり、認知症ケアパスの作成、配付などを通じて、認知症ケアの啓発強化を行いました。			
また、本市では初めての取組となる市民参加型の「ふれあいSOSネットワーク声かけ訓練」を行い、実践を通じて認知症の方との接し方を学びました。			
(単位：千円)			
事業費	報償費（会議謝礼）	60	
	旅費（研修旅費）	37	
	需用費（ケアパス印刷製本費等）	118	
	役務費	5	
	負担金補助及び交付金（研修負担金）	152	
	合 計	372	
			
訓練の様子			
【事業の成果】			
市民参加型の見守り事業や多職種連携による認知症施策の推進により、認知症の方も安心して暮らせるまちづくりに寄与しました。			

款	下水道費	項	下水道建設費			
事業名	公共下水道（污水）整備事業					
施 策 の 大 綱	2－5 環境を重視するまちづくり					
施 策 名	6 快適で衛生的な暮らしを支える下水道の整備					
施 策 の 内 容	1 公共下水道（污水）整備事業の計画的な実施					
H30決算額	294,506千円	財源内訳	国県支出金 53,870千円	地方債 208,100千円	その他	一般財源 32,536千円

【事業の概要】

生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図るため、計画的に公共下水道の整備を進めています。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（污水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和4年度 全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 4,490.7ha

- ・管渠整備工事（補助） ϕ 200mm L＝1,012.0m
- ・管渠整備工事（単独） ϕ 200mm L＝1,186.0m

[平成29年度からの繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	93,647	工事6件，基本設計

[平成30年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	200,859	工事13件，実施設計，その他事務費等

[平成31年度への繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	104,224	工事3件，実施設計，補償金

◎下水道整備状況（平成31年3月31日現在）

整備区域面積 3,707.0ha
うち平成30年度整備面積 13.8ha
供用開始面積 3,707.0ha
人口普及率 88.1%



汚水管渠布設状況

【事業の成果】

中貫，田村第一，沖宿，亀城，高津，小岩田，右廻第一，荒川沖第二の各処理分区において整備工事を行い，生活環境の向上を図りました。

款	下水道費	項	下水道建設費			
事業名	公共下水道雨水排水路整備事業					
施 策 の 大 綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり					
施 策 の 内 容	5 公共下水道（雨水）整備事業					
H30決算額	488,104千円	財源内訳	国県支出金 190,279千円	地方債 292,400千円	その他	一般財源 5,425千円

【事業の概要】

市街化の進展に伴う降雨時の家屋、道路等の浸水被害（冠水）の解消を図るため、雨水幹線の整備工事等を実施しています。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（雨水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和4年度

全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 2,298.7ha

・木田余1号雨水幹線整備事業

排水路施設整備工事 □3,500mm×1,800mm L=69.0m

・神立菅谷雨水幹線整備事業

J R 常磐線横断部委託工事 □3,400mm×2,100mm L=21.0m

調整池整備工事（全体計画58,000m³：調整池掘削工）

排水路施設整備工事 □3,800mm×2,500mm L=38.6m

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	266,675	工事5件, 委託工事1件, 補償金外

[平成30年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	221,429	工事7件, 委託工事1件, 補償金外

[令和元年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費	443,460	工事4件, 委託工事1件, 用地取得費, 補償金



木田余1号雨水幹線
排水路整備状況(JR常磐線東側)



神立菅谷雨水幹線
排水路整備状況(JR常磐線横断部)

【事業の成果】

大雨による家屋の浸水被害や道路冠水を解消するための整備工事を行い、生活環境の向上を図りました。

款	資本的支出	項	建設改良費			
事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業					
施 策 の 大 綱	2-5 環境を重視するまちづくり					
施 策 名	5 安全でおいしい上水道の安定供給					
施 策 の 内 容	2 送配水管整備の推進					
H30決算額	901,704千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				250,000千円	2,921千円	648,783千円

【事業の概要】

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、配水管の計画的な整備を行い、未給水地域の解消とともに、安心・安全な水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図りました。また、耐用年数の経過した铸铁管等の計画的な更新を実施しました。

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委託料	3,240	実施設計 1 件 延長 550.0 m
工事請負費	236,254	老朽管更新工事 8 件 延長 3,392.5 m
計	239,494	

[平成30年度分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委託料	41,742	実施設計 17 件 延長 6,350.0 m
工事請負費	114,083	配水管布設工事 10 件 延長 1,578.8 m
工事請負費	416,803	老朽管更新工事 16 件 延長 3,832.9 m
工事請負費	86,461	送水管更新工事 2 件 延長 415.1 m
工事請負費	2,462	配水管移設工事 1 件 延長 14.0 m
工事請負費	659	消火栓設置工事 1 件 1基
計	662,210	

[平成31年度への繰越]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委託料	9,830	実施設計 2 件 延長 2,690.0 m
工事請負費	62,675	配水管布設工事 3 件 延長 948.0 m
工事請負費	100,616	老朽管更新工事 4 件 延長 1,545.2 m
工事請負費	48,800	送水管更新工事 1 件 延長 397.1 m
計	221,921	



[平成30年度末整備状況]

配水管路延長		約877km
うち耐用年数40年を超えた管路延長		約119km
給水区域内人口	A	137,395人
給水人口	B	135,040人
給水戸数		59,070戸
普及率	B/A	98.3%

【事業の成果】

利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の整備に寄与しました。

